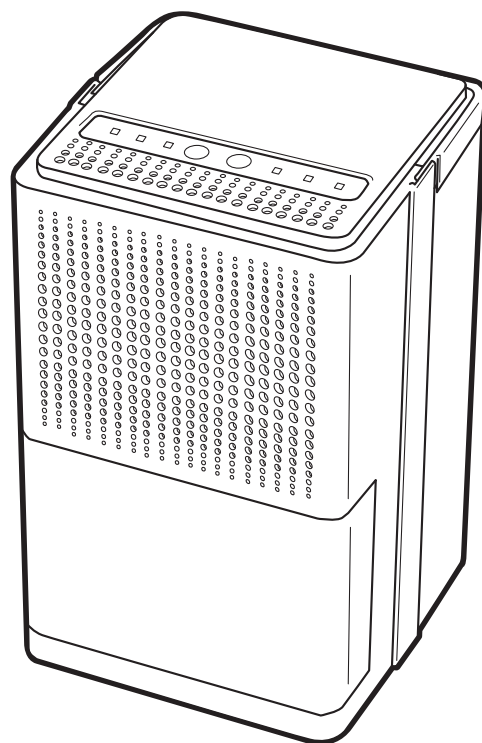
TOYOTOMI

除湿機

型式 TD-CH56D
ティー デー シー エッチ デー

取扱説明書（保証書付き）

このたびは、本機をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく使用してください。
●この「取扱説明書」は、大切に保管してください。
●取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

目　次

長年ご使用の除湿機の点検を!

愛情点検

こんな症状はありませんか	●電源を入れても、ときどき運転しないときがありませんか? ●電源プラグやコードが異常に熱くなっていませんか? ●コードを折り曲げると、通電したり、しなかったりすることがありませんか? ●異常な音や異臭（こげくさいなど）がありませんか? ●ブレーカーやヒューズがたびたび切れることがありませんか? ●本機から水が漏れることはありませんか?
ご使用中止	以上のような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ずお買い求めの販売店に点検をご相談ください。

D03-2

株式会社トヨトミ

8713000501

安全上のご注意(よく読んで必ずお守りください。)

●お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
●ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

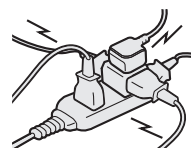
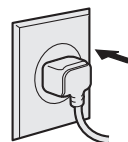
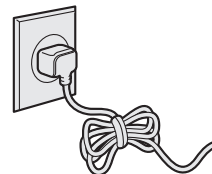
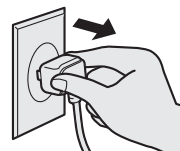
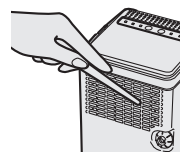
⚠警告(WARNING)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意(CAUTION)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

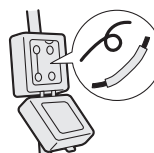
	この絵表示は、「禁止」されている内容です。		この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。

●説明文中の**「お願い」「お知らせ」**事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。

⚠警 告(WARNING)

●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない。
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。
電源プラグにたまったほこりなどは定期的に掃除をしてください。

●電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしない。また、ふすまやドアに挟まない。使用中は、結束バンドや針金などで束ねたりしない。
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●電源プラグを抜いて本機の運転を停止しない。
感電や火災の原因になります。

●吹出口に指や棒など異物を入れない。
内部でファンが高速回転しておりますのでけがの原因になります。

●包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に保管する。
誤ってかぶったとき窒息し、死亡の原因になります。

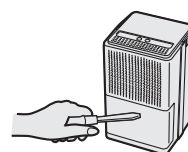
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、ぬれた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になります。

●安全器のヒューズの代わりに針金や銅線などを使わない。
故障や火災の原因になります。

⚠警 告(WARNING)

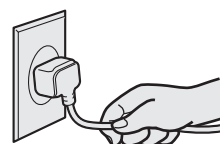
●**発熱器具(ストーブやファンヒーターなど)の近くに置かない。**
樹脂部分が溶けて引火する原因になります。

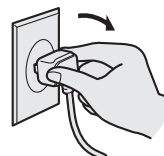
●**可燃性ガスの漏れるおそれのある場所では使用しない。**
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。

●**落雷のおそれのあるときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。**
落雷の程度によっては、故障の原因になります。

●**改造はしない。修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。**
火災・感電・けがの原因になります。

●**異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い求めの販売店または、お客様相談窓口 に連絡する。**
異常のまま運転を続けると故障や感電・火災などの原因になります。

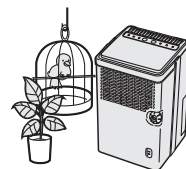
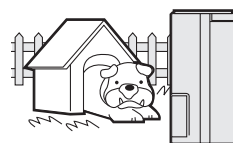
⚠注 意(CAUTION)

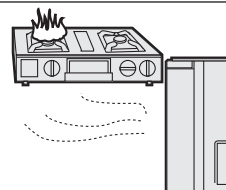
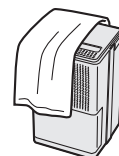
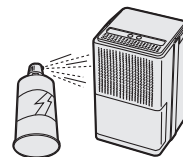
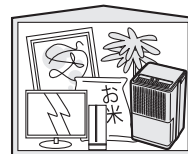
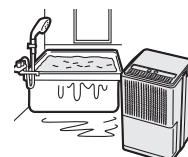
●**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く。**
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードの内部が断線して発熱・発火の原因になります。

●**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。**
電源コードや電源プラグが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電・ショート・発火の原因になります。また、コンセントの差し込みがゆるいと感じた時は工事業者に依頼してコンセントを取り替えてください。
コンセントを交換しても異常に発熱している場合は販売店に修理依頼してください。

●**手入れ・掃除をするときは、必ず 運転「入／切」 ボタンを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてからおこなう。**
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。

●**長期間使わない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。**
ほこりがたまって発熱・火災の原因になります。

⚠注 意(CAUTION)

●**障害物(カーテン等)の周囲や不安定な場所では使用しない。**
水平で丈夫な場所で使用して下さい。
転倒、故障の原因や、水漏れの原因にもなります。

●**動物や植物に直接風があたる場所には置かない。**
動物や植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

●**屋外で使用しない。**
屋内専用です。
故障や感電の原因になります。

●**押し入れの中や家具の中、隙間などせまい場所では、使用しない。**
故障や発熱･発火の原因になります。

●**次の場所では使わない。**
炎の立ち消え、引火などして火災･感電の原因になります。
•ガスレンジや石油ストーブに直接風をあてない。
•雨や水しぶきのかかる所。
•油、ほこり、金属粉の多い所。

●**吹出口や吸込口を布やふとんなどでふさがない。**
発熱･発火･故障の原因になります。

●**スプレー剤などを吹きつけない。**
可燃性スプレーや化学薬品を近くで使うと、火災･爆発･変色･ひび割れの原因になります。

●**食品･動物･植物･精密機器･美術品･医薬品等の保存など、**
特殊用途には使用しない。
本機並びにこれらの品質低下の原因になります。

●**水をかけたり、水のかかり易い場所(浴室内など)で使用しない。**
また、上に花瓶など水の入った容器をのせない。
水がかかると、内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電･漏電･火災の原因になることがあります。

●**上に乗ったり、物をのせたりしない。**
転倒などにより、けがの原因になることがあります。

⚠注 意(CAUTION)

●移動するときは、運転を停止し、タンクの水を捨ててからおこなう。
水がこぼれて床や家財道具を濡らしたり、感電や漏電・火災の原因になります。

確認

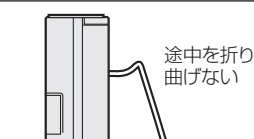
●水洗いしない。
ショート・感電及び故障のおそれがあります。

水ぬれ禁止

●本機の周囲温度が氷点下になる場合は、タンクに水を入れたままにしない。
水が凍りタンクが割れて水漏れの原因になることがあります。

禁止

●連続排水する場合は、ホースの折れ曲がりや落差などに注意し、確実に排水するように配管する。
内部の水が室内にこぼれて、家財などを濡らす原因になります。

実施

●除湿機本体や排水用ホースの周囲温度が氷点下になる場所では使用しない。
本体やホース内部の水が凍結し、本体内部の水が室内こぼれて、家財などを濡らしたり、感電、漏電・火災の原因になることがあります。

禁止

●お子様、お年寄り、自分で湿度調節のできないかたがお使いになるときは、まわりのかたが注意する。
運転中に熱を発生するため、室温が上昇します。
風を直接体に当てたままで長時間ご使用になると、体調をくずしたり、脱水症状をおこす原因になります。

指示

●除湿水を飲料用・飼育用などに使用しない。
健康を害する原因になります。

禁止

●タンクのフロートをはずさない。
フロートをはずすと、運転しなくなったり、タンクの水が室内にこぼれ家財を濡らしたり、感電・漏電の原因になります。

禁止

●同じ場所で長期間ご使用の場合は、製品下部や床の周辺・壁などの汚れに注意する。
吹出口の風が当る壁などに、汚れた跡が残る場合があります。
同じ場所で長時間ご使用の場合は、壁や床など早めの清掃をしてください。

実施

●本機を引きずらない。
床に傷が付く原因になります。

禁止

●本体を倒したり、落としたりしない。また、本体を倒した状態で保管・移動しない。
破損・漏水、漏電などの故障の原因になります。

禁止

各部のなまえとはたらき

前　面

お知らせ	工場での除湿テストでタンクに水が残っている場合がありますが、異常ではありません。

背　面

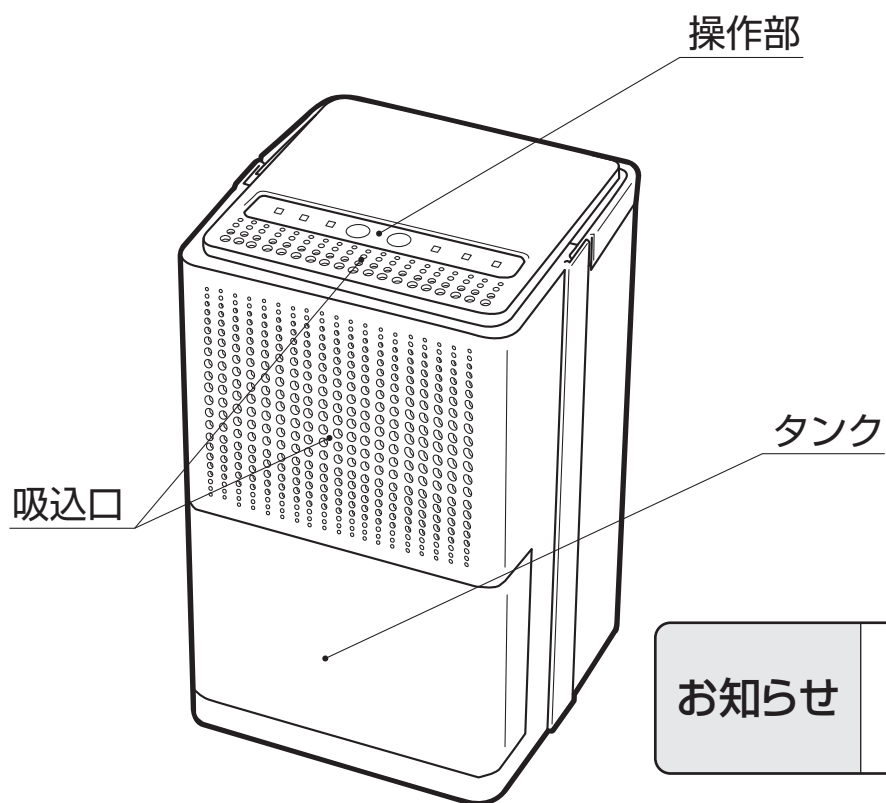
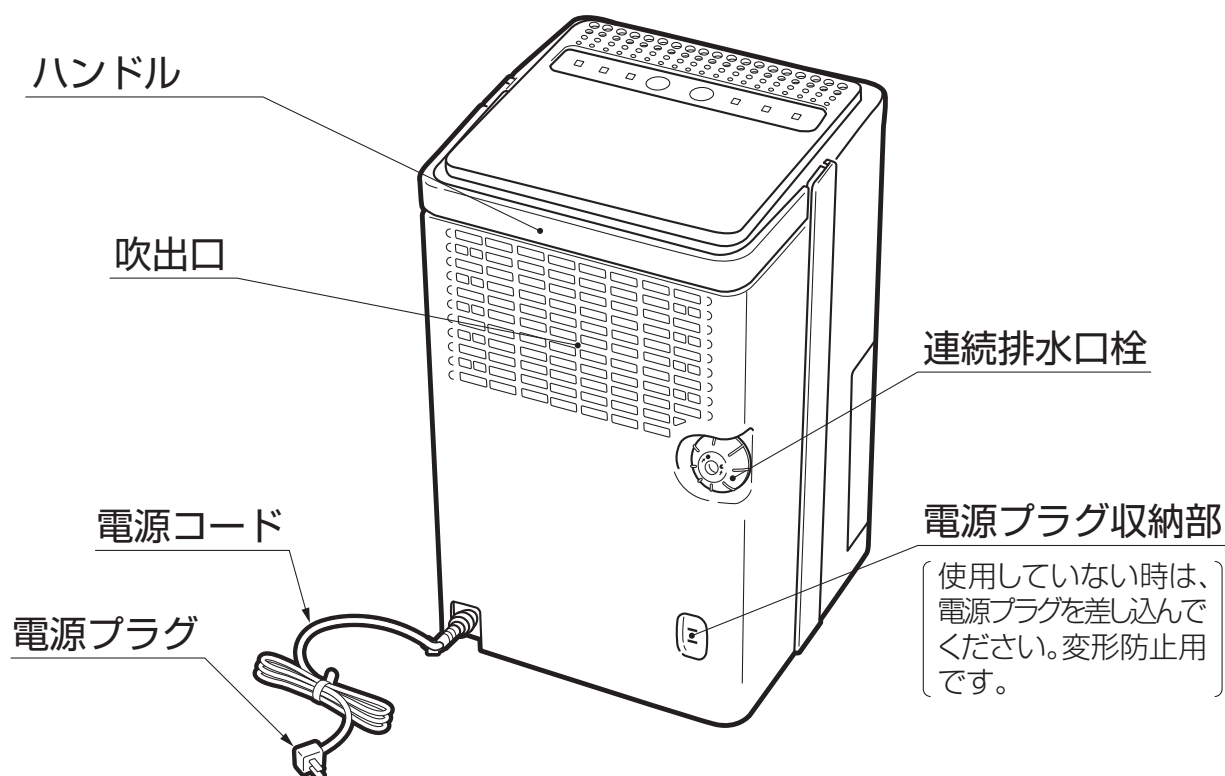
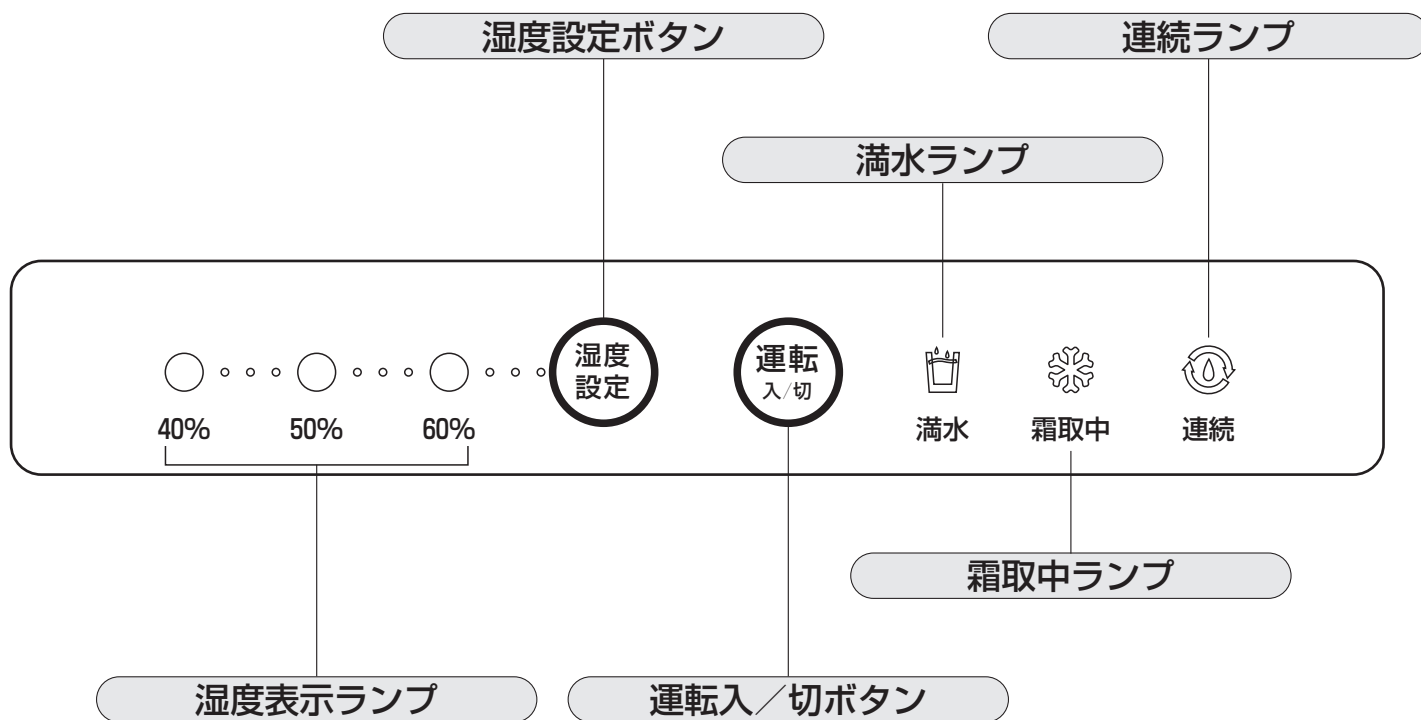
（使用していない時は、電源プラグを差し込んでください。変形防止用です。）

操作部

湿度設定ボタン
連続ランプ
満水ランプ

湿度設定　運転入/切　満水　霜取中　連続

40%　50%　60%

霜取中ランプ
湿度表示ランプ
運転入／切ボタン

知っておいていただきたいこと

●運転可能な部屋の温度について

- 運転可能な部屋の温度は 5 ～35℃です。
  使用温度範囲(5 ～35℃)外でご使用になると、本機の保護装置が働き、運転できないことがあります。

●除湿量について

- 温度が低くなるにつれて、除湿量は少なくなります。また、同じ部屋で連続して除湿すると、湿度が下がるため、除湿量は減ってきます。

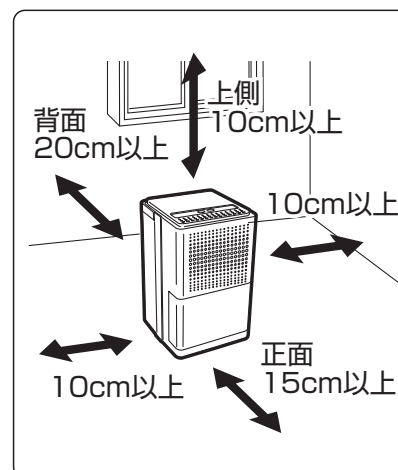
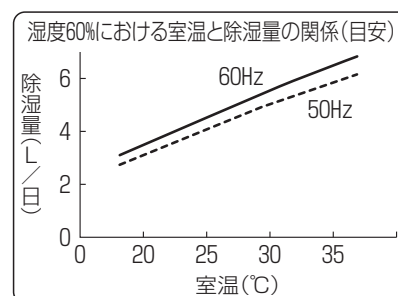
●低温時の使用について

- 部屋の温度が約15℃以下になると、熱交換器に霜が付きますので時々霜取り運転をおこないます。霜取中は「霜取中ランプ」が点灯します。

●運転中は室温が上昇します

- 除湿機は冷房機ではありませんので、部屋を冷やすことはできません。運転中は排熱のためご使用条件によって、室温が 1 ℃～ 2 ℃またはそれ以上上昇します。

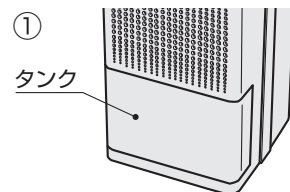
●吹出口と吸込口はふさがないでください。

- 除湿機は壁などから充分スペースをとってください。
- 吹出口や吸込口がふさがれていますと、除湿量が低下し、本機の保護装置が働き、運転できないことがあります。

運転のしかた

⚠警告	●**電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。** ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

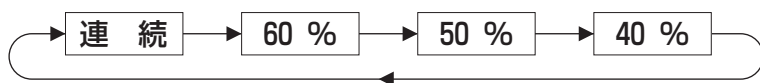
⚠注意	●**吹出口をさえぎったり、吸込口をふさいだりしない。** 発熱･発火、故障の原因になります。

お知らせ	●電源プラグを差し込んだ後、初めての運転は**「連続」**で開始します。 ●メモリー機能が付いています。 運転停止後、**運転「入／切」ボタン**を押すと、前回の運転で始まります。 電源プラグを抜くと、メモリーは解除されます。 ●運転を停止し再度運転を開始した時、停止後3分間送風運転をすることがあります。 これは、本機を保護する「3分間保護機能」によるものです。 ●室温が使用温度範囲内（5℃～35℃）で使用してください。使用温度範囲外で使用しますと、本機の保護機能が働き、運転できないことがあります。 ●部屋の温度が約15℃以下になると、時々内部の熱交換器の霜取り運転をおこないます。このとき、**「霜取中」**ランプが**「点灯」**します。 ●除湿量は、お部屋の温度･湿度によって変わります。 お部屋の温度が低いと、空気中の水分量が少なくなるので、除湿量は減少します。

① **タンクが奥まで入っていることを確認してください。**

② **運転「入／切」ボタンを押します。**

運転「入／切」ボタンを押すと、運転を開始します。

③ **湿度設定ボタンを押します。**

押すたびに運転が切り換わり、ランプで表示します。

④ **運転を停止したいときは、運転「入／切」ボタンを押します。**

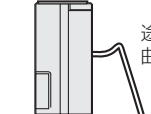
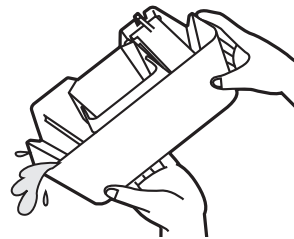
タンク内の水の捨てかた

⚠注意	●**タンクを取り出した後、本体奥の内部にふれない。** 満水停止装置の故障の原因になります。

お願い	●**タンクを強く引き出さないでください。** 水があふれるおそれがあります。 ●**タンクは確実に取り付けないと満水自動停止装置が働き、運転しません。** ●**タンク内に付いている部品をはずさないでください。** 満水自動停止装置が働き運転しませんので、はずれた時は正しく取り付けてください。 ●**タンクをはずした後、本機内部に残っている水が滴下する場合があります。** ぞうきん等でふき取ってください。

お知らせ	●タンクに約1.9Lの水がたまると、**「満水」**ランプが点灯します。 自動的に運転が停止します。

1 **運転を停止します。**

2 **しばらく(5分程)してからタンクをゆっくり取り出します。**
運転停止直後は、本体内部に残っている水がタンクに入ります。

3 **水を捨てます。**

4 **タンクを奥まで静かに入れます。**

連続排水する場合

●連続排水する場合は、ホースの折れ曲がりや落差などに注意し、確実に排水するように配管する。
内部の水が室内にこぼれて、家財などを濡らす原因になります。

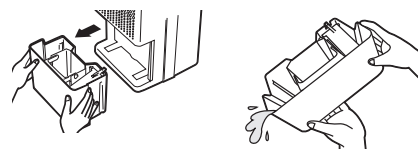
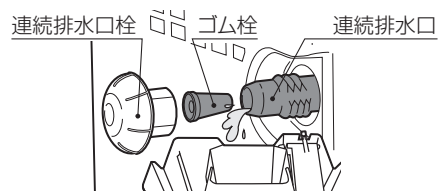
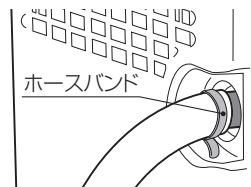
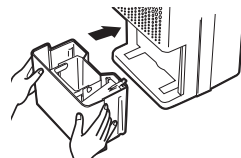
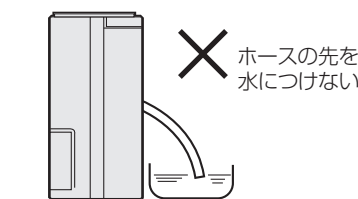
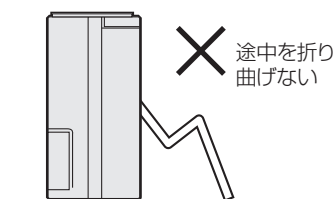
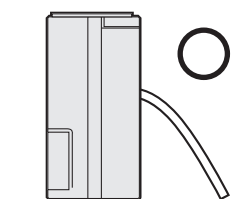
●除湿機本体や排水用ホースの周辺温度が氷点下になる場所では使用しない。
本体やホース内部の水が凍結し、本機内部の水が室内にこぼれて、家財などを濡らしたり、感電、漏電･火災の原因になることがあります。

●無人で長時間ご使用になる時は、フィルターなどを定期的に点検する。
過熱や漏水･漏電の原因になります。

お願い

●ホースの先から虫が入るような場合は、ネット（網）を取り付けるようおすすめします。
●ゆるみがある場合は市販のホースバンドで確実に固定してください。
水漏れの原因になります。

近くに排水できる場所があれば、連続排水ができます。必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、次の手順でおこなってください。

1 タンクを取り出してください。水が入っている場合は水を捨ててください。

2 連続排水口栓を外し、連続排水口のゴム栓を外します。
ゴム栓を外すと、本機内の水がでてきますのでタンクやバケツなどで水を受けてください。
ゴム栓は連続排水を元に戻す際に必要となりますので保管してください。

3 連続排水口の先端にホースを取り付けます。
市販のホース（内径15mm）を連続排水口のネジ部奥まで確実に取り付けます。
ホースがゆるい場合は、市販のホースバンドなどで固定してください。

4 タンクを本体に取り付けます。
ホースの先を排水場所へ設置します。
タンクを取り付けないと満水ランプが点灯し、運転できません。

連続排水時のホースの引きかた

連続排水をやめて元へ戻す場合

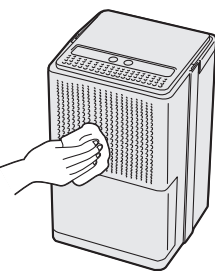
ホースを連続排水口から抜いてください。
連続排水口にゴム栓をして、連続排水口栓を取り付けてから、ご使用ください。

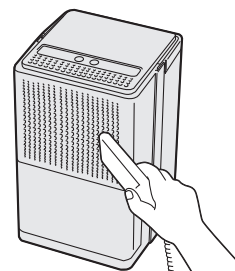
お手入れのしかた

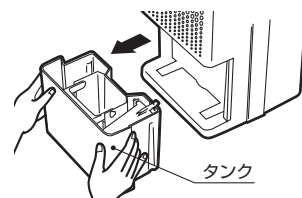
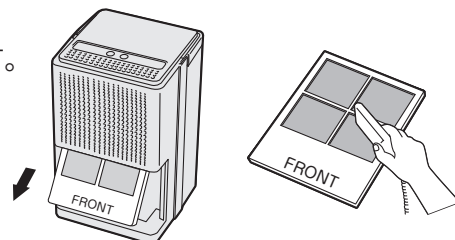
⚠注意	
	●**手入れ・掃除をするときは、必ず 運転「入／切」 ボタンを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。** 内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。 電源プラグを抜く
	●**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く。** 電源コードを引っ張って抜くと、電源コードの内部が断線して、発熱・発火の原因になります。 禁止

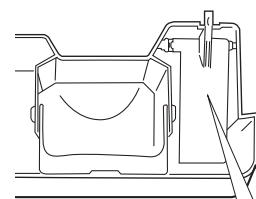
お願い	●フィルターの目詰まりは除湿能力の低下の原因です。 こまめに掃除してください。 ●フィルターを付けずに運転すると本機内部にほこりがたまり、故障の原因になります。

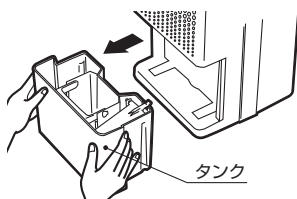
本体の掃除

本体の汚れをぬるま湯か中性洗剤を浸した柔らかい布をかたくしぼってふき取り、その後、乾いたやわらかい布でからぶきします。
（乾いた布で強くこすると傷がつきます。）

吸込口の掃除

掃除機で本体の吸込口のほこりを吸い取ります。
2週間に1回程度、掃除してください。
ほこりがたまると除湿能力が低下します。

フィルターの掃除

1. 本体よりタンクを取りはずします。

2. フィルターを本体から取り出し、汚れを取ります。
汚れは、電気掃除機でほこりを吸い取るか、水やぬるま湯で洗い流します。
汚れが目立つときは、うすめた台所用中性洗剤で洗います。
洗った後は日陰げ乾燥してください。
3. フィルターを元通りに本体に取り付けます。

タンクの掃除

お願い	●**タンクは確実に取り付けてください。** 正しく取り付けないと運転しません。 ●**フロートがはずれていると、運転しません。** はずれた時は正しく取り付けてください。 ●**お手入れのときは次のものは使わないでください。** •40℃以上のお湯 •揮発性のもの（ベンジン、シンナー）・アルカリ性洗剤・カビとり用洗剤・みがき粉など ●**水洗いをした後は、よく乾かしてから本体に取り付けてください。**

タンクが汚れたら、きれいに洗ってください。

1. 本体よりタンクを取りはずします。

2. 水洗いします。
汚れが目立つときは、うすめた台所用中性洗剤で洗います。

電源プラグ・コンセントの掃除

1ヶ月に1～2回、電源プラグをコンセントから抜いて、付着したほこりや汚れを取り除いてください。

故障かな?と思ったら

⚠警告	次の点検をしていただき、それでもなお異常のあるときは事故防止のため使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご相談ください。 ご家庭での修理は危険ですからおやめください。	

症　状	確　認　箇　所	処　置　方　法
運転しない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。
	●霜取中ではありませんか。 (霜取中ランプが点灯します。)	●室温が約15℃以下になると、時々熱交換器の霜を取る霜取り運転をおこないます。 故障ではありません。 →6、7ページ
	●タンクが満水になっていませんか。 (満水ランプが点灯します。)	●タンクの水を捨てます。 →8ページ
満水でもないのに満水ランプが点灯する	●タンクが正しく取り付けられていますか。	●タンクを正しく取り付けます。 →8、10ページ
	●フロートがはずれていませんか。	●フロートを取り付けます。 →10ページ
タンクに水がたまらない (除湿量が少ない)	●フィルターが汚れていませんか。	●フィルターをお手入れします。 →10ページ
	●吹出口や吸込口がふさがれていませんか。	●吹出口や吸込口をふさいでいるものを取り除く。
	●温度、湿度が低くなっていませんか。	●温度、湿度が低くなるにつれて除湿量は低下します。故障ではありません。 →6ページ
運転音が大きい	●水平で丈夫な場所に置いていますか。	●水平で丈夫な場所を選んでください。
	●フィルターが汚れていませんか。	●フィルターをお手入れします。 →10ページ
水が漏れる	●本機を傾けたり、倒したりしていませんか。	●水平な場所で使用してください。
	●タンクに水を入れたまま、本体を移動していませんか。	●タンクの水を捨ててから、本体を移動させてください。
	●フロートがはずれていませんか。	●フロートを取り付けます。 →10ページ
	●運転停止後すぐにタンクを外していませんか。	●運転停止直後は、本体から水がタンクへ入ります。しばらく(5分程度)待ってから、タンクの排水をおこなってください。

上記を点検してもそれでも直らないときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

次のような場合は故障ではありません。

症　状	理　由
運転中、周囲の温度が上がる	●本機は、冷房機ではありませんので、部屋を冷やすことはできません。 運転中は排熱のためご使用条件によって、室温が1℃～2℃またはそれ以上上昇します。
すぐに運転しない	●本機を保護する「3分間保護機能」が働き、3分間送風運転することがあります。
音がする	●水の流れるような音、または「シュー」という音。 本体内部に冷媒※が流れているためです。 ※冷媒とは、本体内部を冷却するガスのことを言います。 ●温度が低い時に運転を開始した場合、湿度設定を変更した場合は、数分間音が大きくなることがあります。 （条件により時間は変わります。）

長年ご使用の除湿機の点検

●除湿機を数年ご使用になりますと、内部が汚れ、能力が低下することがあります。
通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。
点検整備はお買い求めの販売店にご相談ください。

保管のしかた

お願い	●水平で安定した場所に立てた状態で保管してください。 ●直射日光の当たる場所には保管しないでください。

1 **タンクの水を捨てます。**
運転停止後は、本体内部に残っている水がタンクにたまりますので、1日おいてからタンクの水を捨ててください。

2 **連続排水口栓を外し、連続排水口のゴム栓を外します。**
ゴム栓を外すと、本機内の水がでてきますので、タンクやバケツなどで水を受けてください。
排水した後は、ゴム栓、連続排水口栓を元に戻してください。

3 **本体、フィルター、タンクを掃除します。**

4 **本体にポリ袋などをかぶせます。**

5 **湿気の少ない、風通しのよい場所にまっすぐ立てたまま、保管します。**

仕様

品番	TD-CH56D
電源	100V
周波数	50/60Hz
消費電力	130/160W
除湿能力	5/5.6 L/日
タンク容量	約1.9Lで自動停止
使用可能室温	約5～35℃
電源コード長さ	1.8m
寸法	幅230×奥行230×高さ386mm
質量	8.5kg
除湿可能面積の目安	木造…10.4/11.7m^2(6/7畳)　プレハブ…15.9/17.8m^2(10/11畳)　鉄筋…20.8/23.3m^2(13/14畳)

※除湿能力·消費電力は室温27℃、相対湿度60%を持続する室内で運転した場合の数値です。
※除湿可能面積の目安は、JEMA(日本電機工業会)規格に基づいた数値です。
※運転を停止しても、電源プラグが差し込まれていると約0.4Wの電力を消費します。

保証とアフターサービス

保証について

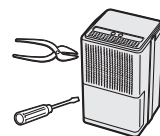
●**この製品には保証書がついています。**
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

●**保証期間はお買い求めの日から1年間です。(ただし、冷凍サイクル部は3年間です。)**
保証書の記載内容によりお買い求めの販売店が修理いたします。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●**保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。**
修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により修理いたします。費用など詳しいことはお買い求めの販売店にご相談ください。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

●**除湿機の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後8年です。**
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

●**改造はしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理·改造をおこなわない。**
火災·感電·けがの原因になります。

●**修理は、お買い求めの販売店にご相談ください。**
ご自分で修理をされ、修理に不備があると、感電·火災等の原因になります。

実施

使用中に異常が生じたときは、直ちに電源プラグを抜き、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
アフターサービスをお申しつけいただくときは、右のことをお知らせください。

型　　式…TD-CH56D
故障状態…できるだけ詳しく
ご芳名·ご住所·お電話番号

●アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または14ページの お客様相談窓口 にご相談ください。

●ご贈答、ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での当社製品取扱店を紹介させていただきます。

お客様相談窓口

製品についてのお問い合わせ、故障修理のお問い合わせはお買い求めの販売店にご連絡ください。
販売店にお問い合わせできない場合は、下記の お客様相談窓口 までご連絡ください。

株式会社 トヨトミ

フリーコール **0120-104-154**

■受付時間：平日（月曜～金曜）：午前9時～午後5時（土・日・祝日は除く）

トヨトミ 除湿機 保証書

本保証書は、本書記載内容により無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い求めの日から下記期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

型　式　TD-CH56D　保証期間　お買い求め日より 本体 1年間
冷凍サイクル 3年間

※お買い求め日　　年　　月　　日

※お客様　ご芳名　　様
〒□□□-□□□□

ご住所

〔電　話　　(　　)　　〕

※販売店名・住所・電話番号

（※印欄に記入がない、あるいは購入·支払いを証明するものがない場合は無効となりますから必ずご確認ください。）

株式会社 トヨトミ　名古屋市瑞穂区桃園町5番17号　〒467-0855　☎052-822-1144

【 無　料　修　理　規　定 】

1. お買い求め日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容により、お買い求めの販売店または当社が無料修理致します。
2. 無料修理をお受けになる場合は、本書あるいは購入日·支払いを証明するものをご提示のうえ、お買い求めの販売店または当社にご依頼ください。
3. ご転居やご贈答品等でお買い求めの販売店に修理を依頼できない場合は、当社までお問い合わせください。
4. 保証期間内でも、次の場合は有料になります。

（イ）取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従わない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
（ロ）お買い求め後の本機の転倒、落下、衝撃等による故障及び損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害による故障及び損傷。
（ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両·船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷。
（ホ）本書のご提示がない場合。
（ヘ）本書にお買い求め年月日·お客様名·販売店名の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状·支払明細書の提示がない場合。ネット販売等を利用した個人売買品や譲渡品、中古品(再生品)の修理。
（ト）部品の消耗による部品交換及びメンテナンスの費用。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い求めの販売店または、当社の **お客様相談窓口** までお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書の「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。

●お客様の個人情報は、当社規定により、厳格に管理します。保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

●冷凍サイクルとは
圧縮機、凝縮器、毛細管、蒸発器および配管で構成された冷媒循環回路のことです。

修理メモ

株式会社 トヨトミ

ホームページ　http://www.toyotomi.jp

本　社　〒467-0855
名古屋市瑞穂区桃園町5番17号
フリーコール 0120-104-154
TEL〈052〉822-1144
FAX〈052〉822-2742

D-Ⓑ